

日本教育大学協会理事会開催

日本教育大学協会理事会が2月10日（金）、東京の学士会館で開催された。

理事会では、村松泰子会長（東京学芸大学長）が冒頭あいさつを行い、平成24年度予算について「文部科学省のご尽力により国立大学運営費交付金も懸念していた額より確保いただいた。特に教員養成機能の充実費という形で、各教員養成大学・学部到手当ていただき感謝申し上げます。」と文部科学省に謝辞を述べた。さらに「秋入学の話題、あるいは幼保一体化に関しても動き出している。我々にも関係が深い事柄であるので本日もお話を伺わせていただきたい。」と述べた。また、教大協の規約改正について触れ、「この体制の理事会は今回で最後になる。来年度から理事会をコンパクトにした上で機動的に動いて行きたい。また、教大協の活動自体についても規約改正をしたので、教大協として政策提言・提案できる力を発揮していくような方向で、次年度に向けていきたいと思う。」と抱負を述べた。

引き続き文部科学省高等教育局池田貴城大学振興課長から、①高等教育局主要事項—平成24年度予算（案）—について、②国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）等の平成23年3月卒業生の就職状況について、③専門職大学（教職大学院）のダブルカウントについて、④幼保一体化と附属幼稚園の関係について、⑤大学入試センター試験について、⑥秋入学について説明、続いて、初等中等教育局幼児教育課竹林悟史幼児教育企画官から、幼保一体化を含む「子ども・子育て新システム」について、藤原章夫教職員課長から、中央教育審議会教員の資質能力向上特別部会における審議の状況について、教職員課教員免許企画室田中賢一室長補佐から、免許状更新講習の開設状況について、生涯学習政策局政策課黄地吉隆課長補佐から、第2期教育振興基本計画について、それぞれ説明があり活発な意見交換が行われた。

文部科学省説明後は、各委員会等の報告に続いて、来年度の活動方針等、様々な課題について審議が行われ、平成24年度の研究助成の採択や平成24年度活動方針等が承認された。また、平成24年度の研究集会は、鹿児島大学の当番で、10月6日（土）鹿児島市において開催したい旨の提案があり承認された。



村松会長



池田大学振興課長



藤原教職員課長



竹林幼児教育企画官



田中室長補佐



文部科学省の説明に熱心に聞き入る各理事



黄地課長補佐